

2021 年度 JBA 公認 B 級審査会

参加審判員 各位



今年度の B 級審査結果（基準）について

（一社）福島県バスケットボール協会

審判委員長 芳賀 聡

2021 年度 JBA 公認 B 級審査会に参加された審判員の皆さん大変お疲れさまでした。

コロナ禍により実践の機会が極めて限られた中で、今回の審査会に参加していただいたことに審判委員会を代表して心より敬意と感謝の意を表します。

先日の県男女選手権大会において行いました審査会につきましては、別添のとおり 11 名の方が合格されました。合格された方は本当におめでとうございます。

また、残念ながら不合格だった方には、ぜひ、来年度こそは合格していただきたいと考えております。

以下、今年度の審査会における選考基準についての考え方と審査会を通して感じたことについてお伝えします。今後の活動の参考にしてください。

まず、今回は、2 年ぶりの開催ということもあり、モチベーション維持するだけでも大変なご苦労があったと考えております。そうした中でも私たち審判員に求められる判定力、技術力を日々の生活の中で各自がトレーニングを重ね、研修を積みながら参加された皆さんの真摯な姿は、私たち審査をする立場の者にとってとても心強く、ありがたく感じたところです。皆さん全員がこれからのチーム福島の競技力向上のためには欠かすことができない貴重な存在であることを改めて認識いたしました。

そうした中で、今年度の審査会も JBA 公認 B 級審判員選考規定に基づき県大会を主審として任せることが出来る力を有しているかどうかを基本的な基準として、県内の 1 級及び 2 級インストラクターが審査を行いました。

さらには、私たち審判員に必要な正しい判定を導き出すためのメカニクスの習得、クローワークの発揮とプライマリ・セカンダリを意識しながらの積極的な判定へのトライ、判定力

に説得力を持たせるためのプレゼンテーションの実践、そして試合を最後まで責任をもって進行させるために必要なプレイヤーやコーチとのコミュニケーションを含むゲームコントロールに取り組んでいるかどうかといった様々な観点を加えながら審査しました。

今回、合格した方、合格しなかった方、皆さんそれぞれに長所や課題がありましたが、各自、今回の結果を受け止めて、そして厳しい環境にも関わらず今回トライしようとした気持ちを忘れずに今後の審判活動に引き続き取り組んでいただきたいと考えております。現在のコロナ禍の中で挑戦し続けることを通して、皆さんお一人おひとりの今後の成長につながることを期待しております。

最後に、コロナ収束までしばらくは先行き不透明な状況が続くかと思いますが、審判委員会としましても審判員の皆さんの安全安心を確保しながら、皆さんとともに次代を担う福島県のプレイヤーの競技力向上に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

